

ながさきエコスクール通信 創刊号



発行：長崎市環境政策課（TEL：829-1156）

発行月：平成27年4月

ながさきエコスクール認定制度を見直しました！

平成26年8月1日付けで、ながさきエコスクール認定制度実施要綱を改正し、**学校側の事務の簡素化を図りました。**

従来の制度では、学校から毎年“実施計画書”と“見直し記録書”を提出していただいていたが、**書類作成に係る手間を極力減らす**ため、新制度からは、お申込みの際に“申込書”と**チェック式の簡易なものに変更された“実施計画書”**をご提出いただければ、**その後の書類を提出していただく必要はございません。**

現在、全市立小中学校111校のうち、小学校45校、中学校15校の**計60校の学校からお申込みをいただいておりますが、この機会にぜひ積極的なご参加をお願いします！**



稲佐小学校



学校を省エネ共和国と称し、校長先生が大統領となり、児童がそれぞれ節電省、食料省、節水省、リサイクル省、地域環境省の5つの省に分かれて環境活動に取り組んでいます。それぞれの省ごとに電気節約前年比2%OFF、残量を10kg以下におさえる、水の節約前年比5%、ペットボトルのキャップを学校で250kg、全体で700kg集める、ごみに対する関心を高め、ごみのポイ捨て分別まちがい「0」をめざすなどの目標を立てており、目標はほぼ達成されています。

また、給食の食べ残しが年間を通して1kgもありません。

諏訪小学校



全学年でボランティア・エコ（通称：エコ・ボラ）として、学校内の清掃だけでなく地域の清掃も行っています。また、落ち葉の掃除を6年生、アルミ缶の回収を5年生、ペットボトルのキャップの回収を4年生というふうに学年ごとに役割を分担した活動も行っています。

学校内のシステムとして、雨水を有効活用し、水資源を大切にしている仕組みを導入しています。



橘小学校

毎週水曜日の始業前にアルミ缶、ペットボトルキャップの回収を行い、校内での啓発活動も行っています。また、全校ではごみの分別、高学年では牛乳パックのリサイクル等も行っています。



西北小学校

毎年、宿泊体験でマイ箸作りを行っています。また、6年生が1年を通して、校庭や廊下など気づいた場所を清掃する取組みを行っています。委員会活動の一環として、オリヅルランを栽培・配布し、各学級で育ててもらっています。



山里小学校



毎年6月末頃に教育週間として、児童が自治会の活動に参加し、地域の花植えや清掃を行っています。

また、PTAと連携し、トナー等の回収を行ったり、環境委員会が学校敷地内の花壇のお世話をしています。

西城山小学校

リサイクル活動の一環として、ペットボトルのキャップを子どもたちや保護者の方だけでなく、地域の人からの協力も得て回収し、それを用いて子どもたちが創作活動を行っています。

また、給食の食べ残しもほとんどありません。



鳴見台小学校

毎週金曜日の中休みを使って、美化委員の子どもたちがごみの仕分けをしています。

子どもたちのごみの分別に対する意識が高く、先生が驚くこともあります。



茂木中学校



学級園に作物や花を植えており、26年度はダイコン、サツマイモ、ジャガイモを育てています。

すべての電気のスイッチに節電を啓発するシールを貼っており、ポスター等での啓発も行っています。

また、25年度はゴーヤ、26年度はキュウリで緑のカーテンづくりを行いました。

香焼中学校



生徒たちが登校する際に、曜日を決めて通学路のごみ拾いをし、生徒会が校門で回収しています。

ペットボトルのキャップの回収も行っており、生徒だけでなく、地域の方も積極的に協力しています。

また、生徒たちが自主的に緑のカーテンづくりに取り組んでおり、27年度はキュウリなどの食べることができるものに挑戦する予定です。

今回が創刊号となる「ながさきエコスクール通信」

毎年、エコスクール認定校を数校ピックアップして訪問させていただき、簡単にお話を伺ったり、写真を撮らせてもらい、このようなチラシ形式で各学校の取組みを紹介していきます。

26年度は、上記小学校7校、中学校2校を訪問させていただきました。

最終的には、エコスクール認定校をすべて紹介する予定です。

今後、ながさきエコスクールにお申込みいただける学校についても、

随時、紹介していきます！



～具体的な実施方法～

小中学校

- 認定申込書を作成し、環境部に提出する。（新規申込時のみ。）
- 実施計画書を作成し、環境部に提出する。（新規又は変更時のみ。選択肢から項目をチェック。）
- 年間を通じて計画に沿った環境行動を実行する。
- 年度末に取組状況調査に回答するとともに、取組みについての反省と検証を行い、次年度の取組みに反映させる。

教育委員会

- 年度末に取組状況調査への回答を各学校に照会する。
- 調査結果を環境部へ提供する。
- 環境部と共同で認定校を訪問し、各校の取組状況の実態を調査する。
- 環境部と共同で特徴的な取組みを行う学校を抽出する。

環境部

- 新規申込校について、取組状況調査の結果により一定の取組みを行っていることが確認できた学校を「ながさきエコスクール」と認定する。
- 教育委員会と共同で認定校を訪問し、各校の取組状況の実態を調査する。
- 教育委員会と共同で特徴的な取組みを行う学校を抽出し、市のホームページや広報紙等で紹介するとともに、学校向けに環境情報誌を作成し、各校へ配布する。
- 環境イベントでの発表や表彰の実施等についても今後検討を行う。



ながさきエコスクールに認定された学校には、低炭素社会の実現をめざす団体や個人が参加する市民ネットワーク「ながさきエコネット」への参加を推奨しています。参加することでエコスクール活動によって削減できたCO₂の量などの成果の確認もできます。エコスクール認定の際には、エコネットへの参加についても併せてご検討ください。

